

Design for 3-year learning

自分のキャリアをどのように描くか、そのための高校時代の3年間をどのように計画して、学び、暮らしていくか、家庭や学校生活をフィールドにして、自分自身の成長を描いてみる。いわば3年間の自分の学びをデザインしていく。そのためのあらゆるサポートを行う仕組みが真和には整っています。

高校としては比較的小規模の真和は、小規模だからこそ皆さんを様々な形で支えていくことができます。疑問にいつでも答えたり、不安に寄り添ったりすることができます。それも皆さんの3年間の学びを充実した形でデザインしていくためののです。

独自の教育課程

高等学校は、学習指導要領に示された必修科目や卒業に必要な単位数など基本的な事柄を基にして、それぞれの学校の特色や状況に応じて独自の教育課程を組んでいます。真和高校も、生徒の進路希望の方向性を基盤にして、それらを最大限実現できるような教育課程を独自に作っています。

たとえば、全国の公立高校普通科の約85%が卒業に必要な単位数を74単位～94単位に設定していますが、真和高校では表のように112単位を設定しています。どの科目もじっくりとしっかり身につけて卒業・進学する、あるいは得意な科目を幅広く学ぶなど、生徒一人ひとりの学びのデザインができるように工夫しています。

真和高校教育課程 (令和6年度)									
学年 教科	1	2文	2理	3国文	3私文	3理			
国語	5	7	5	7	7	5			
地歴公民	4	4	4	8	8	4			
数学	7	7	7	5		8			
理科	6	4	6	4		8			
保健体育	3	4	4	2	2	2			
芸術	2								
外国語	6	7	7	8	8	7			
家庭	1	1	1						
情報		1	1	1	3	1			
総合探究	1	1	1	1	1	1			
演習	1	1	1		7				
H R	1	1	1	1	1	1			
計	37	38	38	37	37	37			

※公立高校普通科の約85%が卒業に必要な単位数を3年間で74～94単位に設定。
(文科省「平成27年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果について」より)

高校1年次

基礎学力をつけ、今後の自己の進路をじっくりと考えていきます。そのうえで、日々の教室での学びだけにとどまらず、多様なフィールドで展開する学習プログラムや、ボランティア活動などに積極的に参加できるように配慮しています。体系的な学びを縦系とし、多様な学びや経験を横系として、他者と協働しながらより深い学びを実現していき、基礎学力に深さと広さを与えていきます。

国語	実用的な文章をはじめ多様なテーマの文章読解に取り組むとともに表現力の向上を図ります。古文・漢文の基礎事項を習得します。
社会	歴史総合と地理総合を履修します。次年度の探究科目選択を意識しながら、基礎的内容の理解と、諸問題の捉え方を学びます。
数学	高校数学の基本にじっくり取り組み、数学的な感覚の基礎を育てます。数学Ⅰ・Aおよび数学Ⅱの内容まで学習を進めます。
理科	理科の各科目にじっくり、かつ深く取り組みます。
英語	Reading…長文を読み、内容を英語でまとめることができるようにします。 Writing…基本的な文法をマスターし活用できるようにします。 英語運用…英語でのプレゼンテーションを行います。

生徒と教師の距離が近い学校

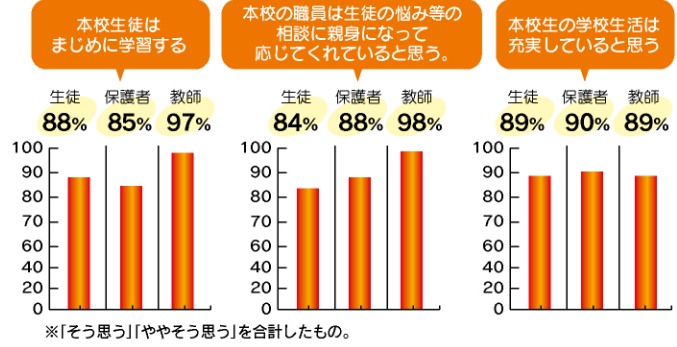
本校では、教師一人あたりが受け持つ生徒数は、9.91人です。熊本県教育委員会の調べ(下表)では、熊本市内の公立高校(普通科)では、14.71人、熊本市内の私立13校でも、14.77人となっており、本校は一人の教師が対応する生徒数は、とても少ない人数になっています。これは生徒に対する向き合い方がとても丁寧で、より細やかな対応が可能であることを示しています。それは、次の学校評価の結果にも明確に表れていると言えます。

教師一人あたりの生徒数比較			
	生徒数	教員数	教師一人あたりの生徒数
市内の公立高校13校	12622人	858人	14.71人
県内の私立高校13校	15909人	1077人	14.77人
合計	28531人	1935人	14.74人
真和	535人	54人	9.91人

令和4年度(2022年度)教育資料集学校一覧 熊本県教育庁教育政策課より/教師の数は常勤者のみ

学校評価からみえる充実した学校生活

このような本校の特色を活かした多様な教育環境やその実践は、様々な形でその成果が表れています。その一つが、毎年実施している学教評価アンケートの結果です。



高校2年次

進路をより具体的に描きながらも、一方で可能性を広げるために、より深く確実に学びを深めていきます。

1年時から引き続いて学校内外を問わず様々な学習プログラム等に参加し、自己のもつ知識に具体性と経験値を持たせていくことで、多様な課題に向かって最適解を見出す力を身につけていきます。高校3年間で最も多様に富む経験ができる学年かもしれません。

国語	1年次に引き続き、文章読解に取り組むとともに、表現力の向上を図ります。 大学入試に必要な古文・漢文の知識の習得を終え、入試に向けてより深い内容に取り組みます。
社会	文系理系ともに公共を履修し、地理探究、日本史探究、世界史探究から1科目選択します。各科目とも大学入試科目にすることを意識し、丁寧に取り組みます。
数学	1年次からの学習内容をさらに進め、文系・理系のそれぞれの大学入試に必要な数学の応用力を養成します。 理系…数学Ⅱ・B・C・数Ⅲの内容まで学習を進めます。 文系…数学Ⅱ・B・Cの必要内容を終了します。
理科	理系…物理、化学、生物の各教科をより深く学びます。 文系…各科目の基礎的内容の習熟を図り、大学入試演習にも取り組みます。
英語	Reading…発展的なレベルの長文を読み、自分の意見を英語でまとめることができるようにします。 Writing…標準的な文法をマスターし、まとまりのある英文が書けるようにします。 英語運用…英語でディベートができるようにします。

図からも分かりますように、「本校生徒は真面目に学習する」「教師は親身になって生徒の悩みの相談に応じる」「本校の授業は充実している」など、学校生活の根幹をなすような内容については、生徒も保護者も教師も、すべて8割以上の高い結果になっています。

中学生のよきモデルになる真和高校生

本校に入学すると、真和中学生がいるため、高校1年生の頃から、上級生としての行動を求められます。上級生と下級生と一緒に活動する部活動や生徒会活動、体育祭、文化祭などを通じて、上級生から下級生に対する思いやりの心、上級生・下級生の規範意識、下級生から上級生に対する尊敬の気持ちなどの醸成が期待されます。幅広い世代との交流による精神的な発達や社会性の育成、これが真和高校の伝統の一つです。



中学生と高校生が一同に会する対面式

高校3年次

進路を確定し、学習を確実に深めていきます。多くの大学が面接や志望理由書の内容を重視しつつある中で、自己の「学びをデザインする」という概念で進路を考えてきた生徒たちは、新しい入試制度にも自信を持って対応できます。

そして、どんな時でも迷ったら教師が生徒をサポートできる体制が整っています。長年の進路実績に基づいた確かな進路指導が、生徒一人ひとりを支えます。真和高校そのものが、生徒にとっての支援システムなのです。



国語	夏以降は、大学入試に向けた演習を徹底します。
社会	理系…各探究科目及び公民演習から1科目を選択し、共通テストに向け、学力の定着・伸長を図ります。 文系…各探究から1科目を選択し、公民演習とともに共通テスト、個別試験両方に対応できる実力を養成します。
数学	理系…数Ⅲまでの内容を早期に終了し、理系大学の入試問題の演習を中心に、理系大学合格に必要な数学力を養成します。 文系…大学入試問題の演習を中心に学習を進め、文系大学への合格に必要な数学力を養成します。
理科	理系…夏頃をめどに履修を終え、大学入試に向けた演習に徹底的に取り組めます。 文系…大学入試演習を徹底し、一部は実験実習も行い、学力の定着化を図ります。
英語	発展的でバランスの取れた総合的な英語力を身につけ、自分がめざす大学の入試に対応することができるようにします。

企業研修

3泊4日に及ぶ修学旅行のメインイベントとも言える企業研修。グループに分かれて、目指す企業に生徒自身がアポイントを取ることから始まります。



東大とタイアップした時習館講座の開催

熊本県が主催して行われる高校生向けの特別講座「時習館講座」。ここ数年は東京大学とタイアップして行われていますが、毎年会場は真和高校で実施されています。今年も東京大学工学部の先生方が来校され、現在の最新の研究内容を丁寧に解説していただきました。生徒達も食い入るように話を聞き、また質問もしていました。探究する心はこういう所でも培われています。



卒業生が体験を伝える「夢リレー」

大学入試に合格した先輩方を、大学生活がスタートする前に学校に招き、後輩たちに思いを伝える教育プログラムが、本校の伝統行事である「夢リレー」です。これは講演会ではなく、小グループに分かれて、その場で質問をしたり、直接アドバイスを受けたりすることができる真和の伝統行事です。進路目標を達成したばかりの先輩方から激励してもらえるのと例年好評です。



志桜塾特別講義

ハイレベルな国語の読解問題攻略のコツや、論理的な文章の読み方を具体的に解説してもらえるプログラムがこの講義です。扱うジャンルは現代文から古典まで幅広く、参加者の疑問を解消してくれるプロの講義で、希望者は誰でも受講することができます。

